

2019年2月14日

顧問先・取引先の皆様へ

栃木県那須塩原市大原間西 1-10-6  
株式会社 TMC 経営支援センター  
社会保険労務士法人 TMC

## メディア掲載のお知らせ

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、TMCは昨年度、研修会等におきまして働き方改革推進に関する情報発信をして参りましたが、自社におきましても業務のRPA化（ロボットによる業務自動化）などに取り組んでおります。

昨日、その取組について、TMCはテレビ局・ラジオ局・新聞社の方々から取材を受けました。次のとおり、放送・新聞掲載がされますので、是非ご覧ください。

### 1. 取材内容

#### ①AIよみと〜る

手書き書類や帳票の文字読取を行い、データ化するNTT東日本のAI-OCRサービス

#### ②おまかせRPA

データ入力業務などを自動化するNTT東日本のRPA（ロボットによる業務自動化）サービス

### 2. 放送・掲載予定

#### ①とちぎテレビ

イブニングニュースPlus6	2月15日（金）	17時59分～
とちテレニュースLIFE	2月15日（金）	21時00分～

#### ②下野新聞、読売新聞

2月14日掲載

#### ③日本経済新聞、CRT栃木放送

掲載日、放送日未定

# 定型事務を自動化 NTT東日本と TMC試験運用

## 生産性向上へ新システム



新システムによる生産性の向上を説明する葛西社長は13日午前、那須塩原市

TMC経営支援センター（那須塩原市大原間西一丁目、葛西美奈子社長）とNTT東日本栃木支店は、手書き書類や帳票の文字読み取りシステム「AIよみとく（AI-OCR）」と、データ入力、電子申請を自動化するシステム「おまかせRPA」の試験運用を始めた。定型事務処理業務の大幅な効率化を狙う。13日、TMC経営支援センター本社でメディア向けの説明会が開かれた。

NTT東日本管内で両システムを連動させた運用は民間で初めて。試験運用は約2カ月間で、人工知能（AI）の読み取り精度、業務の効率化を検証し、本格導入を目指す。

TMC経営支援センターは埼玉県から岩手県までのエリアで中小企業などの人事労務管理業務を請け負っている。個人の属性が記載された「入社連絡票」については、顧客から1日約600件の処理を依頼される。書類の多くは手書きのため、従業員が手作業で1

件ずつデータを入力し、行政への電子申請をしていた。

今回のシステムでは、1枚50項目ある入社連絡票のデータ入力や電子申請といった定型業務の自動化を目指す。読み取り精度は98%以上。1枚の入力時間は約5分の手作業に対し、3〜5秒で処理できるという。

葛西社長は「確認作業は従業員が行うが、24時間稼働するので、生産性の大幅な向上を期待できる」と話している。（伊藤一之）

# 働き方改革で実証実験

## 那須塩原TMCとNTT東

人事労務のコンサルティングを行っている「TMC経営支援センター」（那須塩原市）は13日、NTT東日本のサービスを利用した働き方改革の実証実験を始めると発表した。



実験では、顧客から送られた書類を、NTT東日本の「AIよみとく」で自動で読み取り、次に「おまかせRPA」でTMCのシステムに自動入力する。人間だと5分かかる作業を1分に短縮でき、また、深夜帯にもサービスを稼働させることができるため、大幅な負担の軽減が望めるとい

う。NTT東日本によると、二つのサービスを民間企業が同時に動かすのは東日本で初めてだという。

TMCでは人事労務関連の事務作業の増加に人手が追いついていなかった。また、主な顧客である中小企業でも、同様の業務の負担が大きいことを感じていたという。TMCの葛西美奈子社長は「中小企業の働き方改革の前列になれば」と話していた。